

# i SHARE

2022

Mar.

## Management Information

- ・ Kaspersky（カスペルスキー）製品に関して

## Special Feature

- ・ クラウド型セキュリティトレーニングサービス：KASAP ご紹介

## About INFINITY / improve

- ・ INFINITY：最近のインフィニティ
- ・ improve：Zoho 日本データセンター設立

## Technical Information

- ・ とناりて話しているようなバーチャル空間：oVice紹介

## 今のサービスの改善と新しいビジネスへの挑戦

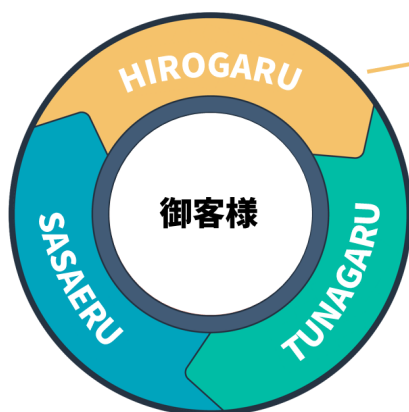
早いもので2022年も4分の1が過ぎ去ろうとしています。コロナの脅威も衰えを知らず、弊社でも1月～2月は全社テレワークを行い、3月も交代での出社体制を行っています。現実世界のみならず、コンピュータの世界でも（サイバー）犯罪やウイルス感染などが増え、多くの脅威にさらされながら、私たちはビジネスを行っていかねばなりません。常に先を考え、新しいことに挑戦していくためにも、インフィニティでは14期後半、下記のことに取り組んでまいります。

### ①セキュリティ/バックアップ強化のご提案

今できることとして、サポートをご契約いただいているお客様には、設定変更のご相談を随時させていただきます。ご不便をおかけすることもあるかと思いますがご協力お願い致します。併せて、セキュリティを強化するための機器やセキュリティ意識トレーニングツールなどをご提案させていただきます。

### ②売上を上げるためのマーケティングオートメーションご提案

「余裕がなければ周りに優しくなれない」のと同様に、企業も余裕がなければより良いサービスを実現/提供することができません。インフィニティでは2022年3月にHubSpot（ハブスポット）のソリューションパートナーになりました。HubSpotは「インバウンドマーケティング」という手法を提唱し、マーケティングに特化した海外メーカーです。ツールの販売だけではなく、マーケティングプロセスの計画から運用サポートまでをHIROGARU（ヒロガル）サービスの一環として、お客様のビジネス拡大支援ができる体制を創り上げていきます。



ビジネスを拡大するための支援  
⇒ HubSpot

業務を拡充するための支援  
⇒ Zoho

リモートワークを拡張するための支援  
⇒ Microsoft 365

今のサービスを見直し改善していくことと、新しいサービスを確立し、より良いビジネス支援を行っていくこと。両面からお客様を支えていけるように尽力していきます。



ロシアのウクライナ侵攻を受けて、ロシアに関わる製品である「Kaspersky（カスペルスキー）」に不安があるとお客様から相談をいただきます。Kaspersky（カスペルスキー）はコンピューター

のセキュリティ・ウイルス対策ソフトです。実際にいただくご相談は、機能面というよりも心情的不安であり、回答になるかはわかりませんが、日本の弊社担当から提供してもらった情報を共有致します。

- ・グループ本社の所在地はイギリスに登記されている
- ・世界各地に現地法人と30以上のオフィスがある
- ・事業のほぼ8割がロシア外で行われている
- ・製品提供状況としては従来と変わらず実施されており遅延はない
- ・配信用のクラウドサーバーもスイス/ドイツ/中国/カナダなどに分散している
- ・2018年に安全性と信頼性の確保に向けた取り組みとしてスイスにデータセンターを設立しユーザーデータやソフトウェアツールの一式の移管とデジタル署名をスイスで実施している
- ・Transparency Centerという、ステークホルダーによって、カスペルスキー製品およびソフトウェア更新のソースコードのレビューを行う機関をスイスに設立している

### カスペルスキーの事業、ソリューション、およびサービスについてよくあるご質問

公式サイトに[よくある質問に対する回答](#)がアップされています。

- ・オペレーションは安定していますか？カスペルスキー製品を使い続けられますか？
- ・国際的な民間企業という理解で合っていますか？
- ・信頼できますか？
- ・自社製品の更新を継続的に提供することを保証していますか？
- ・どのように製品の更新サービスを保護し、セキュリティを確保していますか？
- ・どのようにしてカスペルスキーは自社の製品の完全性と信頼性を保証できますか？
- ・各国の法執行機関や政府機関にユーザーデータを提供しますか？
- ・ロシア政府に情報を提供する義務がありますか？
- ・ロシア政府から、ある行政を攻撃するために使われたマルウェアを無視するよう強制されることはあるのでしょうか？
- ・どのような顧客データを処理しますか？…など。

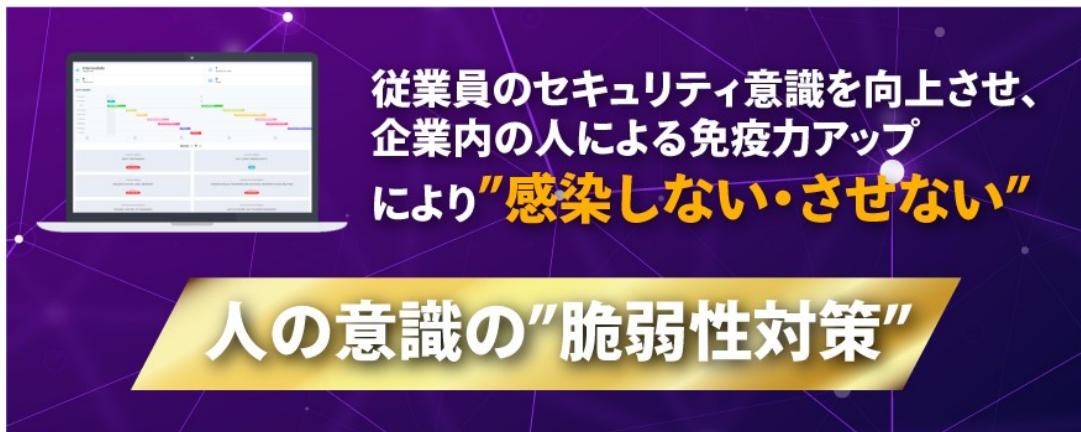
「あくまでグローバル企業であり、国の意向を受けない」との回答のため、弊社としては少し様子を見ている状況ですが、お客様がご不安ということであれば、

- ・一時的にMicrosoft Defender へ入れ替え
- ・他のセキュリティソフトへの移行

をお手伝いさせていただきます。ご不安な方はご相談ください。

最近エモテットやランサムウェアなど、またウイルス被害が増えてきています。サイバー犯罪者側の動きも巧妙になっており、対策はどうしてもイタチごっこになってしまいます。

もちろんセキュリティ機器やソフトウェアなどの導入も重要なのですが、なにより重要なのは「人の意識の“脆弱性”」です。セキュリティ機器/ソフトウェアが警告を出していても、利用者が許可を出してしまえば感染リスクが減ることはありません。そこで今回ご紹介するのが、**クラウド型のセキュリティトレーニングサービス : KASAP (Kaspersky Automated Security Awareness Platform)** です (サービス名が長いですね...)。KASAPは、セキュリティメーカーであるカスペルスキーの新サービスで、セキュリティ意識を高めるためのe-ラーニングです。今の情勢でご紹介するのは非常に迷ったのですが、セキュリティメーカーがこのようなトレーニング系のサービスを安価に提供することは珍しく、IT担当者だけではなくコンピュータを利用する人すべてに意識を高めてもらうことが必要になってきたということなのだと思います。



### KASAPのポイント！



個々人の  
セキュリティ意識向上



サイバー攻撃の  
恐怖と知識の取得



模擬  
フィッシングメール



"忘れる""慣れる"を  
前提としたトレーニング

### こんなお悩みの企業様に最適！



従業員による  
セキュリティ感染の  
リスクを低減したい



セキュリティ  
トレーニング費用は  
コストが高そう



社内のセキュリティ  
意識を把握したい



テレワーク環境なので、  
社内外と環境に  
依存したくない

### 日本語による6つのトレーニングトピック

- 1) パスワードとアカウント 適切なパスワード設定と管理方法
- 2) メールセキュリティ メールの適切な利用方法、フィッシングメールなどの対処方法
- 3) ウェブの閲覧 ウェブの閲覧の際に注意すべきこと、危険なウェブの見分け方
- 4) ソーシャルネットワークとメッセージャー ソーシャルメディアの利用時に注意する点、投稿する際に考慮する点
- 5) PCのセキュリティ PCのセキュリティ設定やその取扱い、ソフトウェアのインストールの際に注意する点
- 6) モバイル機器 スマートフォンの利用や、アプリのインストールの際に注意する点

受講者のレベルに応じたトレーニングレベルをご用意！



合計350種類以上のコンテンツをご用意しています！

模擬フィッシングメール

管理者画面でフィッシングメールのテンプレートを選択(カスタマイズ可能)

件名：パスワードが変更されました。  
差出人：Google account-google@corp-email.info  
宛先：user@(company name).com

kaspersky

### 受講証明書

このパスワードとアカウント：初心者ユニットの完了の証書として。

山田 太郎

が、「CybersecurityBasics」プログラムのトレーニングを無事に完了した結果、独自の個人パスワードと企業パスワードを生成するスキルを習得した。習得したスキルが、発生した場合の事故について理解できていることを証明するものです。

01/20/2021

The Basics of Cybersecurity  
<https://k-asap.eu>



ライセンス					
価格(例)：34,500円(年)～ (最低発注数量5ユーザ×6,900円)					
ライセンスカウント：受講者人数(登録メールアドレス単位)					
価格例					
ユーザー数	5-9	100-149	250-499	1000-1499	5000+
標準単価	6,900円	4,830円	3,710円	2,050円	1,390円

トレーニングだけではなく、模擬フィッシングメール機能やトレーニング終了後の受講証明書の発行も可能です。企業として業務を教えることと同様にITリテラシー教育やセキュリティ意識を高めるための教育も必要になってきます。むしろ新しく入社する世代の方がリテラシーが高くなってきます。今のうちから研修プログラムの一環としてセキュリティトレーニングをご検討されてはいかがでしょうか？ご興味がある方は是非、インフィニティまでご相談ください。

インフィニティは、2022年9月から15期を迎えます。節目を迎えるにあたり、新たな取り組みのご報告をさせていただきます。

**メールマガジンの配信開始**

すでにお気づきかとは思いますが、2022年から毎週1回のメールマガジンを始めました。昨年、補助金/助成金情報を配信する際にお伝えしたとおり、機関誌の「iSHARE」に合わせて、メールマガジンは短時間ですぐに読了できるマガジンとして「ishare」と小文字で配信しています。社内やお



客様との話のネタになるようなITニュースや記事、インフィニティYouTubeチャンネルの内容、サポートブログを掲載しています。しかしまだまだ、より良い情報を皆様にお伝えできるよう模索しています。今後は、オフラインに限らずオンラインのイベント情報なども掲載していき弊社とお客様を繋げる架け橋となっていくよう育てていきたいと思っています。

すでに、感想をササエルサポートにいただくことがあります。サポートから「お客様からこんな感想をいただきましたよ。」と報告をもらうと、とっても嬉しいです。実際に「今回のトピックをもっと深掘して教えてください」や「新入社員に毎回教えてたが、動画で自己学習してもらってます」という声を頂くととってもありがたいです。

本メールマガジンは、弊社の窓口ご担当となっている方と経営層の方にお送りしています。周りで弊社のメールマガジンを「読みたい」という社員様がいらっしゃいましたら、ぜひご一報ください。また、すでに配信されているお客様にはご興味のある記事だけでもご覧いただければ幸いです。今後とも、「継続は力なり」で頑張りますので応援してください。

**YouTubeチャンネル登録者100人を超え！**

2021年1月に始めたインフィニティYouTubeチャンネル。1年が過ぎ、やっとチャンネル登録者が100人を超えました！しかも今は縁起のよさそうなスリーワン（ご覧になっていただく時に、減ってないことを祈ります）！もっとオフィスクラウドのサポート動画をアップしたいのですが、なかなか再現性が低くお客様で起きた問題と同じ状況を出すのは難しいです。



そして、YouTubeに少しずつ社員紹介動画をアップしています。お問い合わせのお電話に対応させていただいているスタッフは、声だけのお付き合いとなりますので、少しでもどのようなスタッフが対応しているのかをお伝えできればと配信しております。



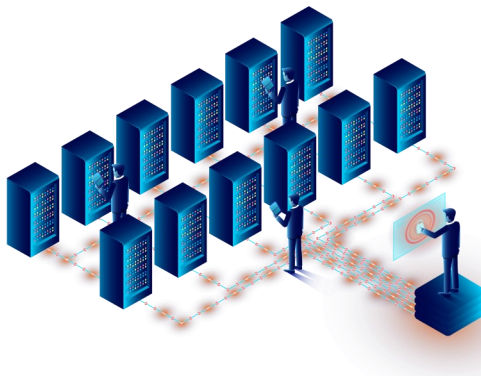
**インフィニティYouTubeチャンネル ←ぜひチャンネル登録をお願いします！**

昨今、Zoho（ゾーホー）も日本市場への力の入れ方が強化されてきています。やはり船井総研がパートナーとなり広めていることが大きなキッカケになっているみたいですね。その一環として、2022年2月14日に待ちに待った「Zoho日本データセンター」が稼働を始めました。東京都と大阪府の2カ所に設置され、今後日本ユーザーでZohoを契約するテナントは、日本データセンターでの稼働となり、

- ・データが国内で保管/管理される
- ・レイテンシー（遅延）が最小限になる

などのメリットが得られます。

では、既に契約している日本ユーザーはどうなるのか？現在、Zohoパートナー担当者に確認をしているのですが、まだ詳しくは決まっていないようで、希望すれば日本データセンターに移行ができるようですが、もう少し時間がかかりそうです（泣）。



### 日本国内にデータセンターが設立される意味って？

2009年にエコポイントという国の制度があったことを覚えていますか？国が発表してからベンダー公募を行ったそうなのですが、実質1か月程度しかない納期だったため、唯一実現可能だったのが「SalesForce（セールスフォース）」だったそうです。当時、国内ベンダーはクラウドサービスとして大規模な環境を短期間で作る手段がなく、SalesForceは既に大規模なクラウドインフラを用意していたため、短期間納期に対応できたとのこと。これだけ聞くと「SalesForceスゴイじゃん！」なのですが、当時は日本国内にデータセンターがなく、カナダのデータセンターに国民の個人情報保管されることに。さらに日本国内の法律は適用できず、データセンターがあるカナダの法律が適用される状態だったとのこと、ひそかに話題にあがったそうです。世界的企業なのでセキュリティは万全とはいえ、認識しないまま国外に個人情報が格納されるという怖さがありますね。また、国の事業でありながら国内ベンダーでは対応できず、外資企業しか対応できないという点から国内ベンダーが一気にクラウドサービスに力を入れ始めたきっかけになったようです。そもそも納期が異常に短いお役所仕事が発端なのですが…

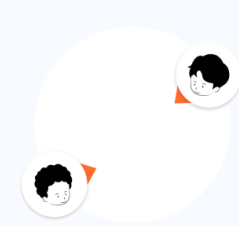
Microsoft（マイクロソフト）の日本国内にデータセンターが設置されたのは2014年です。日本でOffice365のサービスが開始されたのが2013年なので、わずか1年で開設したのはさすがMicrosoftですが、やはり日本市場は後回しにされる現状があります。クラウドサービスは今では企業にとって不可欠なインフラになっています。グローバル企業と国内企業のサービスを比較しながら最適なツールを選ぶ必要がありますが、日本国内にデータセンターがあるかどうか一つの検討材料としてみてください。

## となりで話しているようなバーチャル空間 : oVice (オヴィス) 紹介

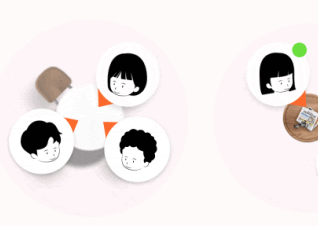
### Technical Information

メタバースという言葉が日本でも聞かれるようになってきましたが、バーチャルオフィス空間も進化してきています。コロナ禍でテレワーク/リモートワークが浸透したためコミュニケーションの取り方がリアルと変わり、苦労している方もいると思います。そこでオススメなのが「oVice (オヴィス)」です。現実空間と同じような感覚で使えることをコンセプトとしたコミュニケーションツールで、テレワークで分断されがちな繋がりを、オンライン上にいながら実際のオフィスに近い感覚を実現することで解決するようです。oViceでは、ユーザーはアイコン(アバター)で表示され仮想的に作られたオフィス内でアイコンを移動させることで、他人とコミュニケーションを取ることができ、アイコンの位置を中心として、近くにいる人の会話が聞こえるのが特徴です。アイコンからの距離が近いほど声が大きく聞こえ、距離があるほど小さくなる。これにより他人同士の会話から、自分の興味がある内容が聞こえた場合、会話に参加するなど、現実のオフィスに近い感覚でコミュニケーションが取れます。画面の共有やビデオ会議も可能。機密度の高い他人に聞かれたくない会話をするときは、鍵付きの「部屋」も作ることができるようです。

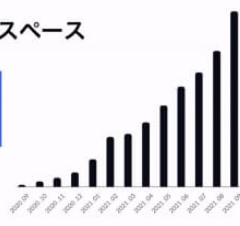
**まるでリアルのような会話**  
クリック一度でアバターに近づき、いつでも安定的に会話を開始できます。

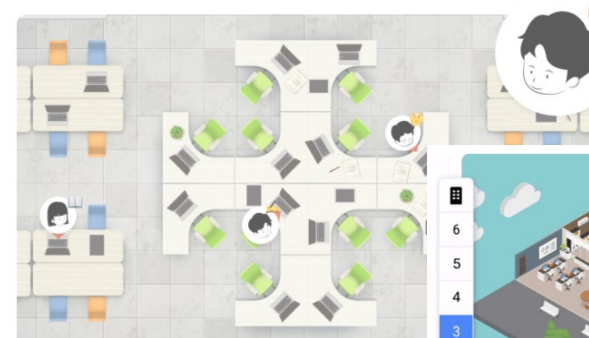


**様々なコミュニケーションを一目で**  
同じ空間で同時に会話ができます。周辺の状況を視覚的に把握できます。


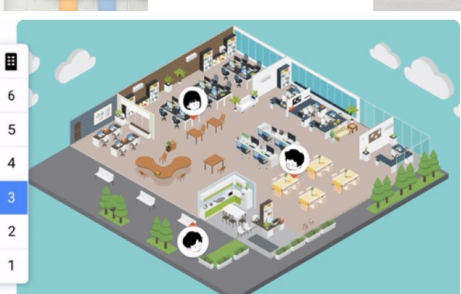


**グローバル累積発行スペース**  
**10,000個**  
2021年毎月発行数





TIME	名前	メール	詳細	ステータス
2021.12.01 10:30	cha	cha@ovice.co	会議室A	オンライン
2021.12.01 10:34	ゲスト	guest@gmail.com		オフライン
2021.12.01 10:30	jae	jae@ovice.co	電話中	退室



面白いのが、oViceのオフィス空間をイベント開催に使える点です。コロナでリアルなイベントが開催しづらく、周年イベントなどを断念した会社も多いはず。oViceのオフィスにはURLで招待することができるため、そこでちょっと趣向を変えて、オンラインイベントにoViceを使ってオフィスに招待というのも面白いのではないのでしょうか？

メーカーサイトではデモ体験もできるので、新しいビジネス仮想空間を是非体験してみてください。

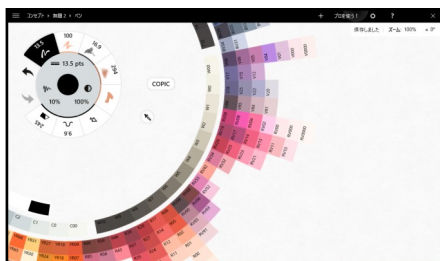
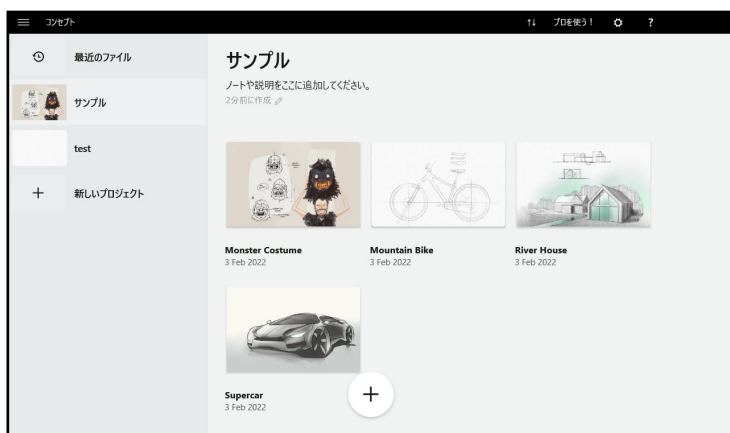


concepts

Let's  
TRY

スケッチアプリ

友人とオンライン飲み会をしている際に、みんなで絵を描いて誰が一番上手か決めようという話になりました。普段は、スマートフォンのメモアプリで描くのですが、今回は、「concepts」でやることになりました。私は、この時初めて「concepts」を知りました。使い方をネットでざっと見て使いましたが、面白いです。



キャンパスが無限なので、風景画などを描くには向かないかもしれませんが、マインドマップなどを書くには最適だと思います。また、無料版でも色もペンの種類も豊富なので、

絵を描くには十分です。基本的には、ペンと太さを選択し、色を選び描きます。最初は、キャンパスが無限なので戸惑いますが、逆に毎回絵を消さなくても隣に移動すれば次々描くことができます。マインドマップの時には上下左右に広げていけます。計測ツールなどを使って設計図も書けますが、それは有料ツールを買ったほうがよさそうです。更に、無料版でも書いた絵はvectorで保存されます。vectorとは、ピクセル（点）で描かれていないので、拡大しても滑らかな線のままになります。

オンライン飲み会では、みんなでクリームパンを書いたのですが、地域によってイメージするクリームパンの形が違っていたことがわかりました。滋賀の人のクリームパンは丸いあんパンみたいな形でした。子供がいる人は、アンパンマンに出てくるクリームパンを描き、島根の人に「それグローブでしょ？」と言われていました…笑。

2022

Mar.

i SHARE

編集・制作

安藤 玲子

### あとがき - Editor's Note

ついこないだ「明けましておめでとうございます」と言ったと思ったのですが、あっという間に3月ですね。寒い寒いと思っていたのに、夜の外出でもコートは不要になる日が多くなりました。ちゃんと春に向かってますね。

コロナのピークが再び過ぎているのかなと安堵しようとしているところで、ウクライナ侵攻が始まってしまいました。インフィニティでは上から数えたほうが早い年齢ではありますが、戦争を実体験していない世代です。世界戦にはならない推測のようですが、地球のどこかで戦争が起こっていることは悲しい現実です。戦争が起きていなくても、たくさんの悲しい現実すらも解決できていないに感じます。

桜の散りと共に、戦争が終わっていて欲しいですね。